

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 岐阜県ドローンビジネス推進研究会事業費 (旧事業名：岐阜県官民連携ドローン等推進研究会事業費)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 航空宇宙産業課 産業振興係 電話番号：058-272-1111 (内3763)

E-mail：c11354@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,330 千円 (前年度予算額：5,330 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,330	2,418	0	0	0	0	0	0	2,912
要求額	5,330	2,418	0	0	0	0	0	0	2,912
決定額	5,330	2,418	0	0	0	0	0	0	2,912

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

ドローンは、世界的に関心が高く、その利活用が進んでいる。物資輸送をはじめ、様々な分野での実用化に向け、ドローンビジネスの拡大が見込まれる。当県に集積する航空宇宙産業の特徴を活かしたドローン製造を推進し、ドローン利活用を促進するため、令和5年1月に設置した「岐阜県ドローンビジネス推進研究会」を中心として、県内企業に対し、機体製造・評価や用途・サービス等の利活用の現状・課題に関する調査研究や情報発信及びドローンの開発・製造に関する支援等を行う。

(2) 事業内容

【1】研究会事業

① 研究会の運営

- ・構成機関の取組みの共有、支援策の検討、国要望の取りまとめ等に向けた研究会を運営する。

② セミナーの開催

- ・「開発・製造」を中心に、「活用」も含めた専門家・有識者によるセミナーを開催する。

③ 先進事例視察

- ・県内外の先進的な取り組み施設を視察する。

④国内製造メーカーとのマッチング

- ・県内モノづくり企業とドローンの活用企業とのマッチングを行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内中小企業が取り組むドローン産業への参入・事業拡大に対し、県が支援することで県内のドローン産業を促進する。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	4,836	研究会、セミナーの開催、販路拡大に向けた商談サポート等の委託
旅費	494	国内業務旅費
合計	5,330	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
3 地域にあふれる魅力と活力づくり
(2)次世代を見据えた産業の振興
- ・岐阜県経済・雇用再生戦略
1 新たな産業活力創出プロジェクト
産業構造の変化を捉えた次世代産業創出支援
3 人材確保・雇用対策プロジェクト
次世代産業の創出やDXの推進等を担う人材の育成・確保

(2) 国・他県の状況

- ドローンに関する利活用等に関する協議会等
- ・空の移動革命に向けた官民協議会【経済産業省・国土交通省】
 - ・小型無人機に係る環境整備に向けた官民協議会【内閣官房】
 - ・農業用ドローンの普及拡大に向けた官民協議会【農林水産省】
 - ・大分県ドローン協議会【大分県】
- ※研究開発等支援事業 製品開発枠：飛行型に加え、陸上・水上・水中型ドローンなどの機体や、ドローンの周辺機器や安全装置などの開発に対する経費を補助する。

(3) 後年度の財政負担

新分野への参入・事業化には持続的に取り組む必要があり、当該事業の効果は、単年度で現われるものではないため、今後も継続的に実施及び支援する必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

県内のドローン産業は未開拓分野であるため、県が主導して牽引する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

ドローンの製造を推進及び、利活用を促進するため、機体製造・評価や用途・サービス等の利活用の現状・課題に関する調査研究や情報発信等に取り組む。また、県内航空宇宙関連企業等によるドローンビジネスを創出する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①ドローンに関する企業人材育成数 (累計)	—	—	50	50	250	—%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>2022年の国内ドローンビジネスの市場規模場2018年と比較して4.3倍であり、今後も年平均成長率10%以上という試算がある。年々、事業の重要性は増加している。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>県内のドローン産業は未開拓分野であるため、県が主導して牽引することは妥当である。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 ドローンビジネスの情勢変化は目まぐるしく、企業ニーズに応じた事業内容を検討していく必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>業界動向や企業ニーズを踏まえ、支援内容を検討しながら取り組む</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	